



自由なポーズで撮ってみよう！

友達同士でさえ、写真を撮るといっただけで、撮るほうも撮られるほうも、なぜか緊張してしまうのは、ちゃんと写らないといけない気持ちがいからです。

変な顔やポーズで写ってしまったも、それを笑い飛ばすつもりで撮影してみましょう。変な写真のデータは消してしまえばよいのです。というよりも、変な写真のほうが楽しかったりするのです。

撮影を一回でやめずに、同じところでも写りを確認しながら、ポーズを変えたりして何回も撮影すること。撮影する人は、被写体の了解を得ずに勝手にシャッターを押すこと。この二つが、キレイに撮るためのポイントです。

ポイント！

good!!

夜の撮影は「夜景」モードで

キレイな夜景を背景にして、人物の記念写真を撮影する時は、「夜景」や「夜景ポートレート」モードで撮影します。人物はフラッシュで明るく、夜景はシャッタースピードを遅くすることで明るく写ります。ブレないよう、カメラをしっかり固定して撮影します。

NG



通常モードで撮影すると、夜景が暗くなります。ピントも背景に合わせて、失敗です。

NG



フラッシュをOFFにすると、夜景は明るく写りましたが、人物は真っ暗になりました。これも失敗です。



夜景を背景にして撮る時は、「夜景ポートレート」モードで撮影します。明るい夜景で、人物も明るく撮影できます。ピントは人物に合わせます。



多人数でジャンプすると、なかなか呼吸が合いません。呼吸のズレを楽しみましょう。



タイミングがズレると、ワケのわからないポーズになりました。これも笑えます。